

# 弘濟寺 かわら版

第106号  
 令和5年3月17日発行  
 弘濟寺 玉野千永 編集  
 弘西寺 131 0465-74-1717  
 弘濟密寺 検索

## タイ



かわら版 第72号でスリランカ、第73号で中国について外国の記事をとりあげました。今号では先日訪問したタイについて書きたいと思います。みなさんタイと聞いてどんな事を思い浮かべますか？象や、キラキラな涅槃像、綺麗なビーチでしょうか？

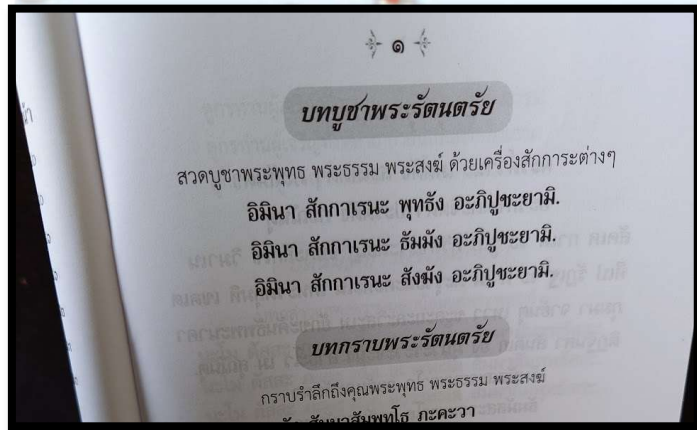
タイは東南アジアの中部に位置する常夏の国で、国民の9割以上が仏教徒です。でも日本とは仏教の伝来経路が違い、スリランカと同様、インドから東南アジア各地に伝わった南伝仏教(上座部仏教)となります。日本は北伝仏教(大乘仏教)です。

みなさんが思い浮かべるキンキラで巨大な寝釈迦さまが祀られているのは、ワット・ポーというお寺です(ワットはタイ語で寺の意味)。このキンキラ像はお釈迦さま涅槃のお姿です。そこで現地の方にタイでは涅槃会をどのように過ごすのか聞いてみました。



「陰暦の月の満月の日にお釈迦様の生誕、

悟り、入滅に対して寺院で儀式があるので礼拝に行きます。今年は5月22日です。」と教えて頂きました。日本で涅槃会は2月15日。花祭り、成道会はそれぞれ別の日にお祀りしています。タイでは全部同じ日に礼拝するのですね。教えて頂いたお礼に弘濟寺涅槃図の絵葉書をプレゼントし、片言の英語で弘濟寺涅槃会お絵解きの説明をさせて頂きました。タイではお月様の暦を大事にしていて、同じように陰暦8月の満月には仏教伝来の三宝節という祝日があります。この日はお釈迦さまが最初の説法を鹿野苑(サルナート)で行い、最初の弟子ができた重要な日とされています。仏・法・僧の3つ(三宝)が揃った日でもあり、人々は寺院にお参りに行くそうです。仏教に関する祝日は観光客も外ではお酒を飲んではいけない日だということも聞き、驚きました。知人の紹介でローカル寺院のお坊さんと交流をした時、タイ語の経本をお借りしたので、スマホで翻訳してみました。普段私達がお唱えしているお経と同じことが書かれています。



タイの経本

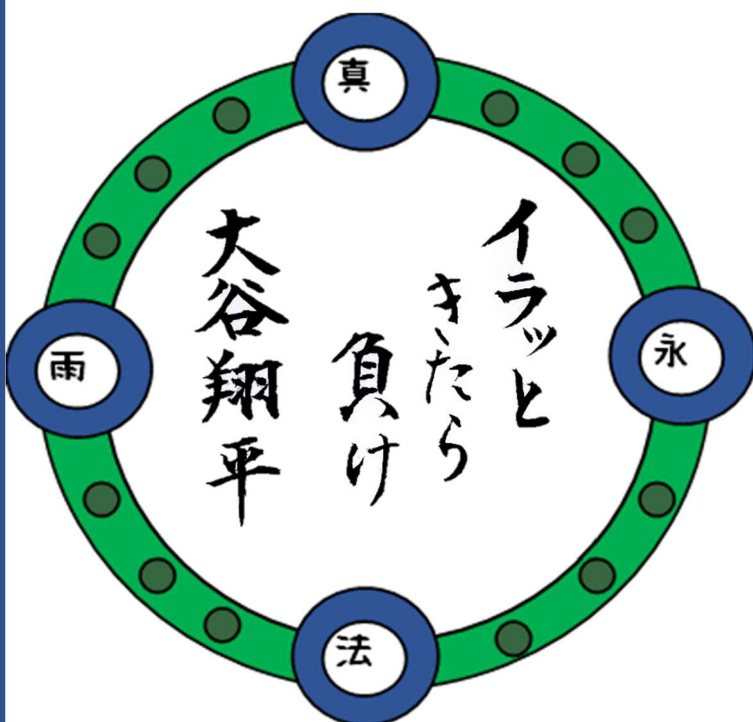
タイといえは象も思い浮かぶと思いますが、象はタイの人たちにとって、戦争ではともに戦い、産業や農業では重い荷物を運び、そしてお釈迦様がお生まれに

なる時には、お母様の夢の中に出てきたとても大事な動物です。そんなタイの象とご縁があるのが小田原の動物園で人気だったウメ子。ウメ子は昭和25年の「小田原こども文化博覧会」の開催に合わせ、3歳の時にタイからやってきました。60年という長い間小田原で過ごし、私達の懐かしい思い出のページに刻まれていますよ。



ウメ子と父と姉

タイに  
 お釈迦さまが説かれた、幸せを願う気持ちはどの国でも同じだと感じました。  
 行ってみて、





# おみくじ

初詣などでお寺や神社にお参りした時、おみくじを引くのを楽しみ

にしている方も多々あります。弘濟寺では今年お正月にいらした方にお煎餅のおみくじを引いていただきました。今年の運氣はいかがだったでしょうか？



おみくじの由来は、ずっと昔、まつりごとを決めるときに、神さまの意見を聞く行いでした。神様に意見を聞くため、籤(くじ)に尊敬の「お」と「み」がついて、御籤(おみくじ)と呼ばれるようになりました。漢字で書くと難しいですね。

平安時代には、中国のくじをベースに天台宗の僧侶が、お経の中のさまざまな言葉を100種類の漢詩にして紙に記します。そのうちの1枚を悩んでいる人に引いてもらい、出た漢詩から進むべき道を僧侶が説いたのが今のおみくじの原型とされます。

今ではハラハラドキドキしながら自身の吉凶や一年の運勢を占うためにおみくじを引くようになりました。書かれていた言葉は漢詩だったり、和歌だったり、吉凶だけだったり、色々です。漢詩は前述の通りお寺発祥、和歌は明治時代の神仏分離で神社が使うようになったといわれています。神仏によって違うのです。おみくじの結果は神さまや仏さまからのアドバイスやメッセージなので、今後の身の振り方として、大吉、凶にこだわることなく、内容に気をつけて過ごせば良い年になるでしょう。

日本のおみくじは僧侶が考えたなんて驚きでした。

## 寺カル〜

### ヨーガ教室

講師：Lomdii ともぞ〜先生  
日程：毎週水曜日 10時から  
場所：弘濟寺本堂にて  
参加費：1回 1,000円  
※ 3/20はお休みです

### タピボン教室

講師：タピボン手芸研究所  
山岸万里子先生  
日程：4月10日(木)  
5月8日(木)  
6月12日(木)  
時間：14:00~16:00  
場所：弘濟寺客殿にて  
参加費：1回 1,100円(送料) 仅対応  
※初めてのの方は事前にお申込みください

## 涅槃図 お絵解き

2月15日第10回涅槃図お絵解きを行いました。令和6年バージョンは鹿野苑(サルナート)とラーフラのエピソードをお話しました。お釈迦様が悟りを開いた後、初めて教えを説いた場所が鹿野苑(ろくやおん)。実は金閣寺(鹿苑寺ろくおんじ)はこの場所が名前の由来となっているんですよ。

そして、もう一つの話はお釈迦さまの息子であり、弟子でもあるラーフラ。他のお弟子さんとは立場が違うため苦労した話です。涅槃会当日は私が着ていた「ラーフラTシャツからの教え」も楽しんで頂きました(写真下)。絵解き後は住職によるわかりやすい法話と、弘濟寺涅槃図絵解きチョコの授与があり、参加者からは「また来年もお話を楽しみに来ますね。」など嬉しいお言葉を頂戴しました。年に一度の涅槃会は毎年2月15日14時開催です。



Budda in meと書かれたラーフラTシャツ

## 参りませう高野山へ

9年ぶりの開催です!

5月17日(金)~18日(土)

- ◎交通：往復新幹線
- ◎旅費：5万円前後
- ◎申込：4月10日 締切 (0465-74-1717 玉野)

詳細は参加希望者に直接ご連絡します



ご贈答品のご用命は

## 足柄ハリカ

南足柄市飯沢 51-4 火曜定休日  
TEL (0465) 74-5221

## 有限会社 勝又

南足柄市飯沢 12-10  
☎ (0465) 74-2306

## レストラン マジェール

★法事用特別コース  
4,000円  
4名様より(個室完備)

☎ 82-0335

開成町宮台 63(シャトレゼ向い)

